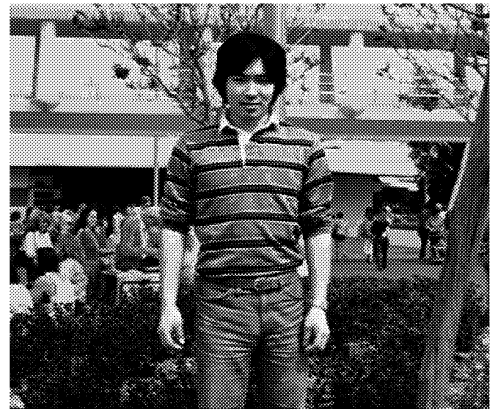


仕事人秘録

私は高校の従来型の教育方法に違和感を覚えていました。人から「やりなさい」と言われるような勉強がどうしても受け入れられません。沼津東高校は進学校なのでテストも多く、強制的に勉強しないといけない雰囲気がありました。そうした環境に反発する手段としては勉強をしないことになります。

行列のできる経営相談所 ④

富士市産業支援センター長
小出 宗昭氏



大学で発奮 勉強に日覚め

大学時代は米国旅行もして視野を広げた

教授をされていましたが、「大学生よりも予備校生のほうが私の話を真剣に聞いてくれる」とおっしゃっていただいたのを覚えています。

私は受験勉強にあまり真剣になれず、勝手気ままな一人暮らしを続けていました。とはいえ、2浪は許されません。現役時代と同様に

大学時代は米国旅行もして視野を広げた
先生たちは「就職は大変だぞ」と繰り返し学生に説いていました。

夏休みなどの長期休暇の時には実家に帰り、観光船のまぎりのアルバイトをしました。普通家庭でしたが両親は私や東京の音大に通った妹の学費や生活費を出してくれました。本当に感謝です。

ゼミは産業組織論を学びました。産業構造の変遷を学ぶのが楽しかったですね。そしてあつと言つ間に就職の季節を迎えました。

学受験の時期を迎えます。立教大学出身の父は「自分よりも良い大学に入つてほしい」と思っていたようです。その気持ちをくんでか、早稲田、慶応、筑波などを受験しましたが全部落ちました。

予備校で印象に残っているのが古典の先生だった。その先生はいまや時の人でもある。

予備校で印象に残っているのが古典の先生だった。その先生はいまや時の人でもある。

予備校で印象に残っているのが古典の先生だった。その先生はいまや時の人でもある。

予備校で印象に残っているのが古典の先生だった。その先生はいまや時の人でもある。